

岐阜女子大学 デジタルアーカイブ専攻



文部科学省 私立大学研究プランディング事業
地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備事業

地域の文化資源を守り、知識基盤社会を支える人材の育成

私立大学研究プランディング事業

岐阜女子大学では、平成29年度に、文部科学省私立大学研究プランディング事業に「地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備事業」で選定されました。私立大学研究プランディング事業は、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組みを行う私立大学に対し、施設費や装置費、設備費と経営費を一体的に支援する取組みです。本事業は、全学的な取り組みとして、地域に根差し地域社会に貢献する大学として、本学独自で育んできたデジタルアーカイブに関する研究が認められ「私立大学研究プランディング事業」に選定されました。

デジタルアーカイブ専攻

デジタルアーカイブの構築・連携を担う人材養成には、対象分野の理解、デジタルアーカイブ化の技術、関連法令と倫理の理解、デジタルアーカイブを開発するプロデュース力、コミュニケーション力。さらに、活用者の視点に立った、ニーズ分析、資料の選定、メディアの選定、ナレッジマネジメントの促進、市民参加型データ収集等の能力が求められます。本学のデジタルアーカイブ専攻では、上記のような各種能力を身につけ、デジタル・ネットワーク時代における知識基盤社会を支え、文化の保存・継承・発展を担う人材であるデジタルアーキビストを養成します。今年度、岐阜女子大学大学院に、デジタルアーカイブ専攻を新設しました。

デジタルアーカイブ学会

デジタルアーカイブは今後の知識基盤社会を支えるものとして、政府、国会等で、その役割が重視されだし、「デジタルアーカイブ整備基本法（仮称）」の上程も進もうとしています。また、大学や研究機関、企業、図書館、博物館、教育機関など関係分野の方々の努力で、デジタルアーカイブ学会（会長 長尾真 前国立国会図書館長）が平成29年5月に発足し、第1回の研究大会を岐阜女子大学で7月に開催いたしました。本学では、デジタルアーカイブの初期（2000年頃）から研究をはじめ、岐阜県を中心に、沖縄県から北海道までの全国各地の地域文化や学術、教育資料の保管・流通と利用・評価の研究をすすめています。

